

AREA WEB

令和7年5月15日 発行
峡東教育事務所
教育支援スタッフ（担当）
電話 0553-20-2731
Fax 0553-20-2733

「心理的安全性を高めよう」～チームのパフォーマンスを高めるために～

山梨県教育委員会 峡東教育事務所 所長 宮本 和仁

初夏の日差しに青葉が輝く季節となりました。皆様方におかれましては、日頃より峡東教育事務所の業務に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。令和7年度がスタートして1か月が過ぎましたが、ゴールデンウィークを経て、いよいよ行事や事業が本格的に展開されていることと思います。

さて、最近、「心理的安全性」という言葉を聞く機会が増えました。心理的安全性とは、チームの中で誰もが安心して意見を述べ、間違いを恐れずに挑戦できる環境のことを指し、組織の成長やチームの成功を左右する重要な要素だとされています。近年、多くの企業がこの重要性に注目していますが、そのきっかけとなったのは、Googleが行った「Project Aristotle」という調査結果です。

Googleは、社内の様々なチームを分析し、「成功するチームの条件」を探りました。その結果、心理的安全性を高めると、チームのパフォーマンスと創造性が向上することを突き止めました。具体的には、メンバーが自由にアイデアを提案でき、互いに批判を恐れず意見交換ができる環境では、創造的な思考が促され、問題解決力が向上することが分かったということです。

では、心理的安全性を高めるにはどうすればよいのでしょうか。Googleの調査結果では、3つのポイントを挙げています。1. 互いを尊重する文化を築く。2. ミスを許容し、学びに変える。3. 相互の信頼を深める。心理的安全性が高まり職場の風通しがよくなれば、職場の人間関係の改善が期待でき、仕事に集中しやすい環境が維持できます。結果的に、個人やチームのパフォーマンスの向上につながるというものです。これは、「相手に間違いがあっても指摘しない」「嫌われないために自分の意見を言わない」といった、ぬるま湯組織とは違います。心理的安全性が高い組織では、反対意見も歓迎されますし、反対意見を言える環境であれば、自分の意見をしっかり伝えられ、集団思考に陥ることを防げます。

心理的安全性の高いチームは、教育現場にも活かせる考え方です。学校や学級においても、子どもたちが安心して発言し、失敗を恐れず挑戦できる環境を整え、より主体的に学び、成長することができるでしょう。私たち教育に携わる者は、この環境を築くために、子どもたち一人ひとりの声を尊重し、安心して学べる場を提供する責任があります。

幼保・小・中・高等学校といった発達段階の違いや、学校・家庭・地域といった立場の違いはありますが、それぞれの特色を活かした心理的安全性を高める取り組みを通じて、より活発な議論や創造的なアイデアが生まれるチームを作り、教育と地域の未来を支えていきたいものです。

本年度は、所長以下17名のスタッフが、山梨県の教育の基本理念「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり」の下、峡東教育事務所が果たすべき役割と目的に向かってチームとなり、関係機関や各種団体の皆様方と連携を図りながら、事業を推進していく所存です。

今年度も皆様方の温かなご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



所長 宮本 和仁 氏

峡東教育事務所での勤務は、通算4年目。義務教育課主幹・管理主事、御坂西小学校校長を経て、昨年度は副所長及び地域学力向上推進幹として事務所に勤務。

豊かさ共創やまなし〜ジェンダー平等でミライをカラフルに〜 山梨市立笛川中学校

山梨県では、ジェンダーギャップを解消する意識を高めてもらうために、県内の中学1年生に男女共同参画パンフレット『COLORFUL』を配布しています。1月14日に笛川中学校において、『COLORFUL』を使った授業が行われました。その様子は1月27日にYBS テレビ山梨県広報番組『豊かさ共創やまなし』で放送されました。

始めに生徒たちは、中学生になりたい仕事集めの中で、どちらが男性でどちらが女性かを予想しました。その中で、自分でも気がつかないうちにジェンダーバイアスを持ってしまい、無意識に人を傷つけたり、夢は叶わないと諦めてしまったりすることもあることに気がつきました。



どちらが男性 どちらが女性



グループで意見交換

『COLORFUL』には県内において性別関係なく活躍する方々のインタビューが掲載されています。山梨県警初の女性白バイ隊員、山梨県の中学校で唯一の男性家庭科教諭、社内でただ一人の女性工事現場監督などさまざまな方々の記事を読み、共感できたことやすごいと思ったことなどをワークシートにまとめました。生徒たちが意見交換をした後、YBSの森田絵美アナウンサーが『COLORFUL』掲載の萩原なつ子さんの『中学生の君たちへ』を朗読しました。授業のまとめで生徒たちは「性別関係なく仕事を選べるのはいい社会だと感じた。」「自分の将来の夢を諦めないでがんばっていきたいと思った。」などの意見を発表しました。



森田アナの朗読

企業担当者による商品開発や販売戦略について学ぶワークショップ 県立高等支援学校桃花台学園

山梨県と株式会社ローソンは『包括連携協定』を締結し、県内の活性化を図るため、さまざまな事業に取り組んでいます。その一環として、1月24日に桃花台学園食品加工コースの2年生に対して、ワークショップが行われました。

講師はローソンのマーチャンダイザーのお二人でした。ワークショップは各自が4つのチョコレート菓子がそれぞれ10代女性・50代女性のどちらに人気の商品かを考えて〇をつけることから始まりました。その後、4つの商品に



活発な議論が行われました

に対する意見を全体で確認しましたが、意見が割れている事がわかりました。ローソン担当者から正解が示されると、意外な結果に生徒たちは驚きの声を上げていました。そして、10代の女性が好きなチョコ、50代の女性が好きなチョコを実際に手に取り、その理由をグループで考えました。生徒たちからは10代の女性は『パッケージがかわいいもの』や『みんなで食べられるように小分けにされているもの』などを好み、50代女性は『糖質やカロリーを意識しているもの』や『小さくて持ち運びがしやすいもの』などを好む傾向があるという意見が出ました。これらの活動により、生徒たちは、『商品開発をするときに大切な“お客様を知る”こと』を学びました。



10代女性か 50代女性か



マーケティングの極意を学びます

さらに、同じ商品の2種類のCMを見比べることにより、お客様に提供する『価値』により商品の位置づけが変化することも学ぶことができました。現在食品加工コースでは、約30種類のパンを製造しています。本日の学びが今後の新商品の開発に生かされていきます。

川倉集会～水防の体験を通して地域を学ぶ～ 山梨市立日川小学校

1月21日に日川小学校において、『川倉（かわくら）集会』が行われました。

日川地区は日川と重川の2本の川に挟まれた土地で、昔から大雨などで川が氾濫し、長い間、水害に悩まされてきました。そのため、日川地区の人たちは、どうしてもこの地域を水害から守ることができるのかについて、相談したり、工夫したりしてきました。そうした歴史の中から生まれたのが、日川地区に伝わる『川倉』です。『川倉』は、川が増水して堤防がくずれそうになったときに、水の流れを弱めたり、水の流れのコースを変えたりするために川に入れるもので、ヒノキやスギの



心をひとつに合わせ



今年は2基に挑戦

丸太を縄で組み立てます。いわば木製のテトラポットです。日川地区の『川倉』は『大川倉横結操法』と呼ばれるもので、川倉作りの危険性を少なくするために考え出された、全国でも珍しい作り方です。

日川小学校では40年以上前から、6年生が総合的な学習の時間などを使って、この歴史を学び、実際に自分たちの手で『川倉』を作る活動をしています。心をひとつに合わせることが何より大切であり、互いに声を出して確認し合いながら、呼吸を合わせ、素早く、正確に『川倉』を作ることを心がけて練習に取り組んできました。丸太を縄で結ぶ作業など不慣れで難しい作業が多く、最初の頃は1時間以上かかりましたが、15分以内に完成させることを目標にがんばりました。

当日は6年生の作業を、全校生徒と保護者をはじめ地域の人たちも見守りました。集合のかけ声「右にならえ」「番号はじめ」など、まるで消防団のように規律が整っていました。作業中も「ここだよ」「これは俺が縛るよ」「よし」など、仲間同士で声を掛け合う様子があり、子どもたちが主体的に関わっている姿が見られました。



完成した『川倉』

ラグビーの面白さや楽しさに気づく機会にしよう～卒業生による特別授業～ 山梨市立山梨南中学校

2月10日に山梨南中学校において、同校の卒業生で現在は帝京大学のラグビー部で活躍されている飯沼暖さんを講師に、ラグビーの特別授業が行われました。

準備体操のあと生徒たちは『手つなぎ鬼』でしっかりと体を温めました。そのあとはグループに分かれてパスの練習です。ストレートパス、スクリューパス、足踏みしながらのパスをしっかりと練習しました。パスの練習後はその成果をいかしてミニゲームが行われました。2チームで対戦しますが、チーム内で5回パスが繋がれば1点



手つなぎ鬼 逃げろ逃げろ



ストレートパスの練習

です。ボールを持っている人はその場から動いてはいけないことと、ボールを奪う方法はパスカットだけであることが確認され、ゲーム開始です。飯沼さんからは「パスを受けるためにボールを持っていない人がどのように動けばいいか考えよう」などとアドバイスがあり、生徒たちはミニゲームを楽しんでいました。

終わりの会で飯沼さんから「皿洗いはたいへんな労働で目立たないけど、皿をきれいに洗うことにより、料理がさらによくなる。何事もとらえ方が大事であり、部活や勉強も今はつらくても将来役に立つと思えば乗り越えられる。成長するために常に自分に向き合い、努力することが大切だ。」とメッセージが送られました。

山梨南中学校ではこの春の卒業生から、山梨南中学校サポーター制度を設け、登録を希望した卒業生はさまざまな機会に中学生の活動の支援をするようになり、今後も卒業生の活躍が期待されます。



みんなでパスをつなげ！

福祉体験～年齢や障がいの有無に関係なくスポーツを楽しむ～ 笛吹市立浅川中学校

2月14日に浅川中学校において、1年生を対象に『福祉体験』の講座が行われました。内容は『ブラインドサッカー』と『ボッチャ』の体験です。

ブラインドサッカーの講師はブラインドサッカークラブ『オガルリーブレ山梨』代表・監督の栗木二仁さんです。始めにブラインドサッカーの概要やルールの説明を聞きました。ブラインドサッカーのボールは内部に金属のプレートが取り付けられており、転がると音が鳴る構造になっています。この音によって、プレーヤーたちはボールの位置や転がり方を把握します。ゲームの体験は難しいので、この日はアイマスクをつけて『歩く』、『ドリブル』、『パ



仲間の声や拍手が聞こえる方向に向かってドリブル



ボールから出ている音をよく聞いてパスが受けられるか

ス』の体験を行いました。体験を行った生徒は「体験をする前は、アイマスクをつけても、ボールからは音が出ているし、仲間の声や拍手を頼りに、ドリブルやパスも簡単にできていると思っていた。実際は真っ暗だと、細かい位置や距離が特定できず、とても怖かった。目が見えない人がするのだから簡単なスポーツだというわけではないということが分かった。」と感想を述べていました。

ボッチャは八代町スポーツ推進委員や地域福祉推進委員会の方々が指導をしてくださいました。半数近くの生徒はすでに体験したことがあるようでした。2チームに分かれて赤・青のそれぞれ6球のボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、ジャックボールという白いボールに、いかに近づけるかを競います。簡単に見えるようですが、ボールは思ったところに行ってくれません。代表の生徒は「子どもからお年寄り、障がいのあるなしに関係なく、誰にでもできる素晴らしいスポーツで、体験ができてとてもよかった。」と感想を発表してくれました。



狙いすまして慎重に投球

聴いてくれる人に届ける気持ちが大事～小中合同音楽会～ 笛吹市立御坂中学校・御坂西小学校・御坂東小学校



御坂東小の合唱



御坂西小のリコーダー奏

2月18日に御坂中学校体育館において、御坂ブロックの小中合同音楽会が行われました。

当日のプログラムは御坂東小学校3・4年生による合唱『マイ バラード』、合奏『ミッキーマウス・マーチ』で幕が開けました。続く御坂西小学校はリコーダー奏『茶色の小瓶』、合唱『いつだって』の2曲を4年生が披露しました。最後に御坂中学校は2年生が合唱『旅立ちの時～Asian Dream Song～』を歌い、吹奏楽部が『シュガーソングとビターステップ』、『新時代』の2曲を演奏し、音楽会を締めくくりました。どの発表も練習の成果が発揮されていて、素晴らしい音色が体育館に響き渡りました。

参加した児童生徒の代表からは「私たちは今日のためにたくさん練習してきました。楽しく歌えて良かったです。」「合奏ではそれぞれのパートがきれいにできていたと思います。他の学校の合唱も一人ひとりしっかりと声が出ていたと思います。」「東小学校は人数が少ないのに演奏の完成度が高くびっくりしました。西小学校は人数が多いからこそできる迫力があり素晴らしかったです。」などの感想が述べられました。

御坂中学校の内田喜子先生は「小学生の透き通っていて響く声は中学生になると出せなくなります。今の声を大事にしてください。中学生の皆さんは長い時間をかけて練習をしてきましたが、1回しかない本番に精一杯力を出し切ろうという気持ちが伝わってきました。聴いてくれる人に音楽を届ける気持ちが大事です。」と講評の中でお話しされました。



御坂中の合唱



御坂中吹奏楽部

ことぶき勸学院『入学式』 甲府・峡東教室『開講式』 山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院では、今後求められる新たなシニアのライフスタイルを創造するため「生きがいの創出」「新たな縁・絆の構築」「地域に貢献できる人材の育成」「健康増進」の実現を目指しています。

入学式（4月15日・YCC 県民文化ホール）



入学式（学院長式辞）

令和7年度は甲府・峡東 A・B 教室に新たに73名が入学しました。入学式は、多くの来賓出席のもと厳粛な雰囲気の中で執り行われました。会場には、新入生の希望に満ちた笑顔と明るい声が溢れていました。荻野学院長式辞では、「志を同じくする仲間と「生涯現役」「一生青春」の精神をもって、交流を深め、人の輪を広げ、人生をさらに豊かにしていって欲しい」とのお言葉がありました。新たな環境で自らの成長を



入学式後の講演会

実感できる大切な時間が始まりました。

入学式後には、落語家であり、スポーツ DJ、ラジオ DJ でもある三枝亭次郎氏による講演会があり、皆で落語の魅力を十分に味わいました。

甲府・峡東教室2年（4月18日）、1年（4月22日）開講式



峡東教育事務所宮本所長の祝辞

甲府・峡東 A・B 教室の開講式がことぶき勸学院（甲府市東光寺）で行われました。峡東教育事務所の宮本所長より、「人生100年時代、健康で楽しく、実りある学校生活を」と祝辞がありました。開講式に引き続き、クラス写真・班別写真の撮影等が行われ、その後担任の先生から年間の予定や単位修得、クラスや班の役割分担などの話し合いが行われました。充実した学びのスタートとなりました。



学級会では活発な班別の話し合いを実施

山梨県教育委員会 峡東教育事務所 地域教育推進事業について

【主な業務】

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ① 峡東地域教育推進連絡協議会の運営 | ② 地域教育情報誌「エリアウェーブ」の発行 |
| ③ 幼保・小・中・高・特支・大学の連携推進 | ④ 成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院他） |
| ⑤ 子育て・地域連携・人権に関する講演会の開催 | ⑥ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中他） |
| ⑦ 異校種間授業参観・県立学校出前授業の推進 | ⑧ いきいき教育地域人材活用推進事業 |
| ⑨ ふるさと山梨郷土学習コンクール | ⑩ SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）活用事業 |

【スタッフ紹介】

○ 教育支援スタッフ（担当）

主幹・指導主事 風間 謙（かざま けん） & 主幹・指導主事 水越 哲也（みずこし てつや）

これまでの活動を引き継ぎながら「家庭・地域・学校の繋がり」を大切にしたいと取り組む推進していきたいと考えています。指導主事は都道府県及び市町村の教育委員会に置かれる専門的職員ですので、地域教育に関わることがあればお声がけください。みなさまのご支援とご協力をよろしくお願いします。

○ スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW） 深澤 真澄 & 木内 和 & 大原 早紀

管内の児童・生徒の問題解決を支援するため、スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）がサポートいたします。何か悩みごと等がありましたら、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

令和7年度 峡東地域教育推進連絡協議会 事業計画（案）

1『総会』（役員のみ参加・依頼文書を発送）

日時 令和7年7月11日（金）14:00～14:45
会場 石和図書館（視聴覚ホール）
内容 峡地連の組織・事業報告・事業計画・会則・その他

2『地域教育セミナー』（笛吹市教育委員会共催）

日時 令和7年7月11日（金）15:00～17:00（総会終了後）
会場 笛吹市スコレーセンター
内容 「みんなで伴走し、育てよう！山梨の子どもたち ～架け橋期の教育を考える～」
講師 東海大学児童教育学部児童教育学科 准教授 寶來生志子 氏

3『子育て講演会』（山梨市教育委員会共催）

日時 令和7年8月26日（火）15:00～17:00
会場 山梨市民会館 ホール
内容 「多様なニーズを持つ子供たちの支援について（仮）」
講師 山梨大学 教授 秋山麻美 氏

4『人権のための講演会』（甲州市教育委員会共催）

日時 令和7年11月25日（火）15:00～17:00
会場 甲州市民文化会館 ホール
内容 「子どもたちが安心して育つために～発達障害を通して考える～（仮）」
講師 山梨県立こころの発達総合支援センター 所長 後藤裕介 氏

5『実務者会』（実務者のみ参加・依頼文書を発送）

日時 令和8年2月4日（水）15:30～16:30
会場 東山梨合同庁舎 103会議室
内容 峡地連活動総括と来年度の計画について

『地域教育セミナー』
への申込は
下記 QR または URL から



<https://forms.office.com/r/YF80hAkL7T>

☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ 峡東教育事務所からのお知らせ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒

◆皆様のご協力により「異校種間授業参観可能日一覧表」「県立学校出前授業一覧表」が完成しました。
◆地域情報紙エリアウェブを通じて、「他校種の情報を知ることができる」「連携のきっかけになる」とのお声を寄せていただいております。特別なイベントである必要はありませんので、お気軽に情報をお寄せください。（記事として峡東地域で紹介させていただきます。現在約300カ所に配布中）

☎ 0553-20-2731（担当・直通）

◆エリアウェブのpdf版は「峡東教育事務所」のホームページからダウンロード可能です。



PDF版はこちら

峡東教育事務所のHPに掲載中！
「エリアウェブ」で検索 🔍

